

赤穂御崎のぶっこみ釣り

(するする仕掛け)

2012.5.13

赤穂御崎（東御崎公園前）へ16時着で満潮の17:30ごろを目指し大急ぎで仕掛け作り。

まだ水温が低く今年ののっこみは遅れている。

例年なら、季節的に超過が少ないながらも良型が上がる頃であるが。

今日は短時間で集中するため早速投入した。

投点約60m位か、軽く投入した。

竿2本を使う。

道系ナイロン3号とPE2号・オモリ4号中通しゴム管付き・ハリス1.5号・針チヌ5号アタリは無いしエサ（ニホンスナモグリ＝ボケ）が残る。

「潮待ちかな」と思い満潮前後の時間待ちと決め込む。

この時間に来れば他の釣り人がいないので左右に投点を振り分けて探る。

但し、引き釣りが出来ないシーズンです。

キスなどで遠投、小針の場合は被害は無いが、中近投のぶっこみ釣りは、背の高いガラモと海底の袋虫（イソベ）の抜け殻が沢山あり、細仕掛けの釣りでは仕掛け作りで最高の地合いを逃がす。

投点でじっくり待つ。

何投目かにふぐがスレ掛かりで上がり17:30ようやく小アタリがあり途中重苦しい引き込みで上がったのは30.5cmのイシガレイでした。

これは最高です。この時期のイシガレイは食味最高です。

後は18.30までアタリなしで撤収しました。

先週の当地で27cmのクロダイが上がったが、予測どおりあと少し水温の回復が必要だろう。

イシガレイ

30.5cm

